



新年 あけましておめでとうございます。

痛ましい能登半島地震から始まり、衆議院議員選挙や米国大統領選挙、パリオリンピックや大谷翔平と大きなニュースの多かった激動の2024年が幕を閉じ、2025年が始まりました。

禍福は糾える縄の如しとは言いますが、今年は少しでも穏やかな年になればと願うばかりです。さて新年最初のOpenTalkS!は毎年恒例となります代表 田中のご挨拶を兼ねたインタビューと、今月より葛西センターの新センター長に就任しました村石センター長を特集いたします。

はじめに昨年2024年の振り返りと、2025年に向けての抱負をお聞かせください。

田中：新年あけましておめでとうございます。旧年中はお客様、取引業者様、そして従業員の皆さん大変お世話になりました。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。

2024年を振り返ってみると、「底を打ったな」という印象ですね。コロナ禍もひと段落し、社会的にも経済的にも通常に戻ってきたことで、いろんなことが上向いてきたという印象です。

OTSに目を向けても、カイゼン活動等、ここ数年掛けて行動してきたことに対して、少しずつ結果が出始めて来ているという実感があります。

今年の抱負は、、、抱負というか課題というか。20代～30代の社員の補強や育成を含めた強化が目下の課題になってくるかと思えます。

単純に若い労働人口が減ってきているということもありますが、仕事や出世に対する感覚が時代とともに変わってきていて、どの会社もその流れに合わせて行く必要に迫られていると思います。その中でどのように採用や教育をしていくかを考えているところです。

業務の面で言えば2022年にテキスタイルプリントのO-Perspectiveをサービス展開し、昨年は古河センターの開設があり、またプレス会社に業務提携として堀江センターに入らせていただき、OTSのサービスメニュー

にプレス機能を追加することができました。

今までもそうでしたが、2025年もブランドビジネスサポーターとしてお客様に喜ばれる物流サービスを休むことなく探求し続けていくというのが抱負になります。

今年の一文字を「道」とされましたが、そこに込められた思いをお聞かせください。

田中：かなり深い意味がありそうな言葉を選んでしまいました（笑）剣道や柔道、華道茶道というように、この道という字には物事を終わることなく探求し、また継続し続ける事の重要性が込められているように感じます。

先ほどの話の続きになりますが、物流道とかOTS道とか、OTSとしてどうしたらお客様の役に立つのかというのを、常に探求し続けることが重要だと考えてこの文字を選びました。

また今年の社内での活動の一つとして、働く人達の行動規範「OTS Way」と言えるようなものを作って行こうと活動を始めています。

その点も含めて2025年は「道」という字を選びさせていただきました。

本年もOTSをよろしくお願いいたします。



田中 優一郎

THE OPENTALKS! - Vol179



HAPPY NEW YEAR 2025

センター長就任おめでとうございます。まずは自己紹介からお願いできますでしょうか。

村石：葛西センターの村石です。東京都町田市出身、OTSには2012年の入社になります。最初の配属は現在はなくなってしまいましたが、旧ターミナルセンターに配属となり、湾岸センター、そして葛西センターと渡り歩いてきました。

前職で海外ブランドの銀座店でストックコントローラーとして商品や用度品の管理をしていたので、ファッションの物流という点でOTSでの仕事にはすんなり入っていくことができました。

センターを統括する立場となりますが、どんなセンターにしていきたいですか。

村石：葛西センターは規模としてはOTSの中では中規模となりますが、とはいえ約100名の方が働いているセンターとなります。難しいことかもしれませんが、私が特に大事だと思っている仕事観については極力同じ感覚を共有していきたいと考えています。

仕事に対する姿勢や考え方は十人十色ではありますが、私が大事にしている仕事観はスピード感、レスポンスの速さです。

OTSの物流現場では日々の業務と平行して、お客様からのお問い合わせやイレギュラーなご要望にも対応していく必要があります。

その際はやはりお客様ファースト！まずはレスポンス良くお客様への対応をして、その後に社内的なこととか事務的な事に取り組むという意識を持ってもらえると、嬉しいなと思います。

今年の一文字を「識」とされましたが、そこに込められた思いをお聞かせください。

自分も含め皆に業務に対する知識をどんどん吸収して、増やしていった欲しいなという思いを込めました。研修でもOJTでも知識を付けることが大事なのではなく、知識というのはやはり意識しないとアウトプットに繋がっていかないと考えています。

また意識しないと経験を知識に換えることもできないと思います。

意識して知識を得て、また意識して知識を活用していく。そんな意味を込めて識という字をかかせていただきました。

葛西センターはお客様ファーストでお客様に喜ばれるファッション物流を提供していきます。

今後ともOTS葛西センターをよろしくお願いいたします。



村石 宇広

